

記者発表（資料配布）				
月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	丹波医療センター 総務部	代表 0795-88-5200 内線 1321	管理局長 栗飯原 弘尚 (総務部長 丹保 祐一)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立丹波医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、救急患者の受け入れ促進や地域医療連携の強化による患者の確保、前年度途中からの手術枠の拡充等により医業収益が増加し、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金もあったことから、前年度から 351 百万円の増加となり、10,938 百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定等による給与費の増加、建物修繕費の減少、各種委託費の削減等による経費の減少の結果、前年度から 106 百万円増加し、11,964 百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、前年度から 246 百万円改善し、1,025 百万円の赤字となった。
- (4) また、特別損失に計上される旧柏原病院敷地の一般会計への移管に係る費用等が減少したことにより、純損益は前年度から 262 百万円改善の、1,018 百万円の赤字である。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）	床	320	320	0	100.0
	入院	延患者数	104,311	104,144	△ 167	99.8
		1日当たり患者数	286	285	△ 1	99.7
		新規患者数	6,537	6,692	155	102.4
		平均在院日数	15.0	14.5	△ 0.5	96.9
		診療単価	56,074	57,272	1,198	102.1
	外来	延患者数 (医療センター分)	135,242 (119,467)	136,185 (121,537)	943 2,070	100.7 (101.7)
		1日当たり患者数 (医療センター分)	557 (492)	563 (502)	6 10	101.1 (102.1)
		新規患者数 (医療センター分)	16,975 (14,347)	15,618 (13,225)	△ 1,357 △ 1,122	92.0 (92.2)
		診療単価 (医療センター分)	17,120 (18,044)	17,359 (18,209)	239 165	101.4 (100.9)
経常収益	入院収益	百万円	5,849	5,965	116	102.0
	外来収益 (医療センター分)	百万円	2,315 (2,156)	2,364 (2,213)	49 57	102.1 (102.6)
	その他医業収益	百万円	409	438	29	107.1
	医業収益 計	百万円	8,574	8,767	193	102.3
	一般会計繰入金	百万円	933	1,027	94	110.1
	その他収益	百万円	1,080	1,144	64	105.9
	合 計 ①	百万円	10,587	10,938	351	103.3
経常費用	給 与 費	百万円	5,814	6,162	348	106.0
	材 料 費	百万円	2,109	2,109	0	100.0
	経 費	百万円	2,482	2,380	△ 102	95.9
	その他医業費用	百万円	1,197	1,018	△ 179	85.0
	医業費用 計	百万円	11,602	11,669	67	100.6
	その他費用	百万円	256	294	38	114.8
	合 計 ②	百万円	11,858	11,964	106	100.9
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 1,271	△ 1,025	246	—
特別利益 ④		百万円	1	7	6	700.0
特別損失 ⑤		百万円	10	0	△ 10	0.0
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 1,280	△ 1,018	262	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 特定行為看護師の活用による手術枠の増
(令和6年10月～ 外科、整形外科につき、各1枠／週の増)
- ② 常勤麻酔科医の確保
(令和8年1月～ 1名増、計2名に。令和8年5月～ 手術枠の増 各科計7枠／週の増)
- ③ 回復期リハビリテーション病棟における365日リハビリの開始(令和8年4月～)
※土曜日リハビリについては、令和6年10月～開始。
- ④ 地域医療循環型人材育成プログラムの継続実施(平成20年10月～神戸大学に委託)

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 生体情報モニター(8台)の更新(約28百万円)(令和8年3月)
- ② 超音波診断装置(5台)の更新(約26百万円)(令和7年11月)

3 今後の取組

- ① 丹波市ミルネ診療所、健診センター、訪問看護ステーションとの一体的な運営による患者の確保
- ② 消防本部との連携強化による救急患者の受入促進
- ③ 地域医療連携の強化
- ④ 地域医療教育センターによる人材育成の推進
- ⑤ 価格交渉の強化等による診療材料費の節減

【参 考】 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について(別紙のとおり)